

大学発女性起業家誕生

野生動物との共存を目指して

鳥獣被害対策を支援

鳥獣被害対策を支援するため長岡技術科学大学（上富岡町）の山本麻希准教授（生物機能工学専攻）が昨年5月、「(株)ついで」を同大学内に設立、代表取締役役に就任した。自然界に野生動物が多くなる一方、人間の生活圏が広がり野生動物と接触する機会も増加した。このため人間と野生動物の共存が喫緊の課題でもある。同社は大学発ソーシヤルベンチャー企業として野生動物と人間の共存を目指す。科学的アプローチによる鳥獣害防除のコンサルティングを主業にしている。

経験を活かして野生動物対策支援を行う代表取締役役に就任した山本麻希さんは同大学の准教授として地域の獣害

対策に取り組んできた。2011年には獣害対策の支援団体（現NPO法人新潟ワイルドライフリサーチ）を設立。15年からは一般社団法人ふさと

けものネットワークの会長として獣害対策のプロを育てる「けもの塾」を運営してきた。山本さんの活動は実践的な自然保護であり、環

境省鳥獣保護管理プランナリ、農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザリ、新潟県の鳥獣対策指導者育成研修の講師

などとして活躍。多くの市町村から信頼を受けている。総合研究大学院大学後期博士課程修了、理学博士である。同社の主な事業内容は以下の通り。▽鳥獣被害対策研修事業

▽鳥獣の被害対策や電気柵設置、農による捕獲の研究

▽鳥獣被害調査・生息数分析▽野生動物の生息数や生息を調査分析▽野生動物被害把握業務▽野生動物の被害把握やカワウの食害推定を行う▽獣害業界のオンラインリクルートマッチング事業▽全国の鳥獣害対策団体や関連企業、行政と学生を繋ぐハブを構築しリクルートマッチングする



野生動物との共存を目指して話す山本准教授

境省鳥獣保護管理プランナリ、農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザリ、新潟県の鳥獣対策指導者育成研修の講師などとして活躍。多くの市町村から信頼を受けている。総合研究大学院大学後期博士課程修了、理学博士である。同社の主な事業内容は以下の通り。▽鳥獣被害対策研修事業

▽鳥獣の被害対策や電気柵設置、農による捕獲の研究

▽鳥獣被害調査・生息数分析▽野生動物の生息数や生息を調査分析▽野生動物被害把握業務▽野生動物の被害把握やカワウの食害推定を行う▽獣害業界のオンラインリクルートマッチング事業▽全国の鳥獣害対策団体や関連企業、行政と学生を繋ぐハブを構築しリクルートマッチングする

▽鳥獣被害調査・生息数分析▽野生動物の生息数や生息を調査分析▽野生動物被害把握業務▽野生動物の被害把握やカワウの食害推定を行う▽獣害業界のオンラインリクルートマッチング事業▽全国の鳥獣害対策団体や関連企業、行政と学生を繋ぐハブを構築しリクルートマッチングする

▽鳥獣被害調査・生息数分析▽野生動物の生息数や生息を調査分析▽野生動物被害把握業務▽野生動物の被害把握やカワウの食害推定を行う▽獣害業界のオンラインリクルートマッチング事業▽全国の鳥獣害対策団体や関連企業、行政と学生を繋ぐハブを構築しリクルートマッチングする